

## アジア映画を出張上映

私はアジア・フォーカス、福岡国際映画祭のボランティアを始めて8年目になりました。毎年この映画祭が楽しみだと、福岡近郊の方はもちろん、他県、東京や大阪など遠くからいらっしゃるお客様が多くいらっしゃいます。

私はボランティアの合間を縫ってアジア映画を鑑賞しますが、スケジュールが合わないなど、時として観られない場合があります。

この映画祭での上映を見逃しても、ラッキーなことに私が住む福岡市には福岡市総合図書館があり、過去に上映されたアジア映画の数々がアーカイブとして残され、特集上映の際には福岡市総合図書館の「シネラ」という映画館で上映されます。

私はこういう文化的に恵まれた環境で生活していますが、地方都市には映画館が全く存在しない街が多くあり、DVDのレンタルや、インターネットの発達で特別に映画を観なくてもという時代の流れを感じます。

そこで私が提案したいのはこの福岡市総合図書館にアーカイブされているフィルムで九州の各町を巡り、子供から大人、お年寄りにまで気軽に来てもらい、各町の公民館や公共施設でアジア映画の出張上映を行いたいです。

- ・ アジア映画はハリウッドや邦画のように興行収入を意識した作品が無く、人間本来を描いた作品が多くあり、現代のアジアを感じられる。
- ・ 九州は温暖でアジアの玄関口であり、アジアの映画をよく理解出来る土壌がある。
- ・ 映画を大勢で観ることにより、普段よりも強く笑いや悲しみ、感動を共有することが出来ること、そして映画の記憶が思い出として残る。
- ・ 映画の中でアジアの国々を旅することが出来る。
- ・ 24時間、携帯が繋がった状態の日常をオフラインに出来る映画上映。
- ・ 子供たちが大勢で観るマナーを覚えることが出来る。
- ・ 地方の街にこそ文化娯楽が必要だ。
- ・ 福岡市総合図書館のアーカイブを活用出来る。
- ・ 現代の紙芝居おじさんです。